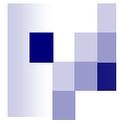


R3年度 筑後川・矢部川大規模氾濫に関する減災対策協議会（上流圏域）

# 大分地方気象台からの連絡事項 及び3か月予報等について

令和3年6月2日  
大分地方気象台



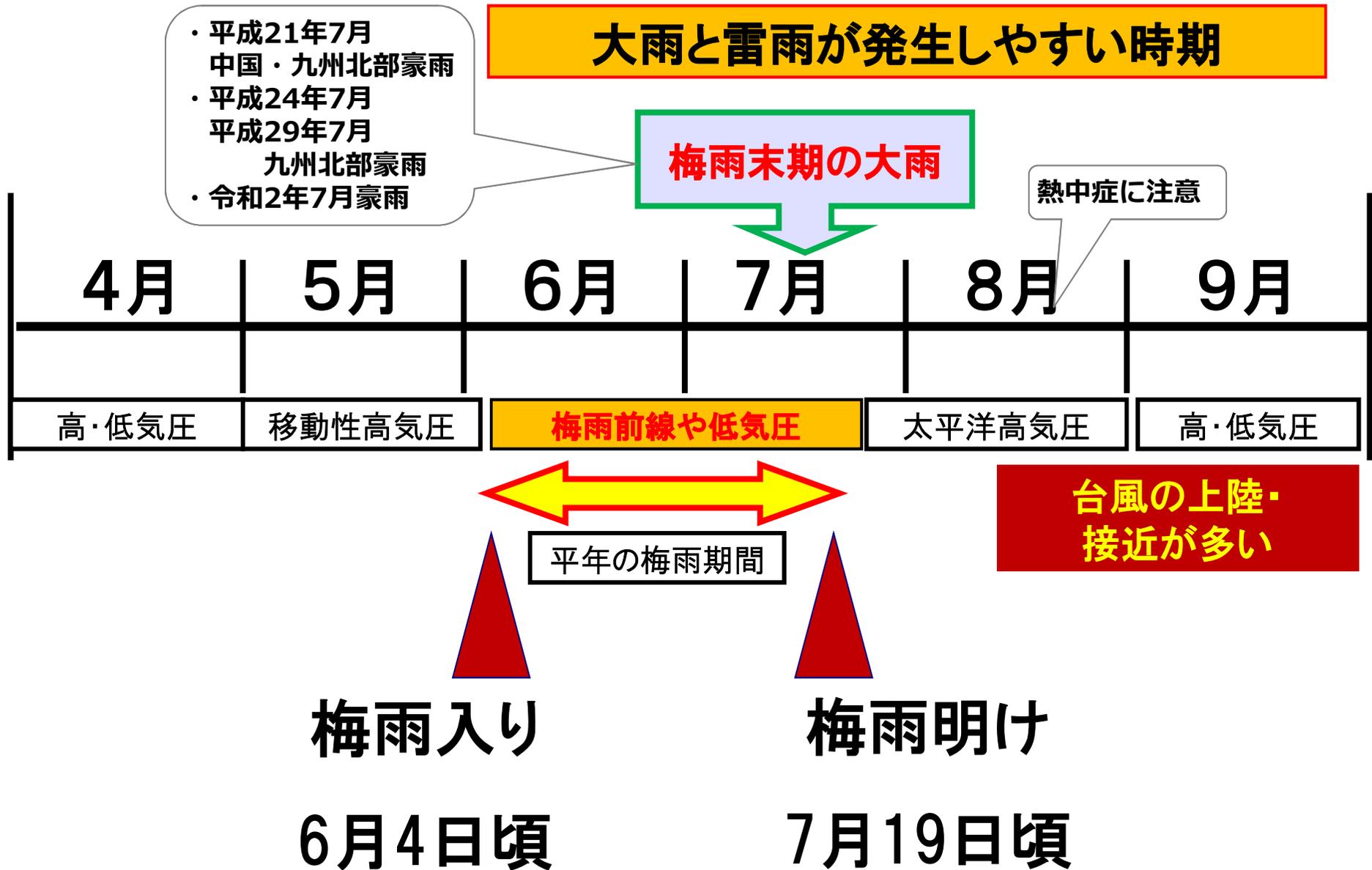
## ★ 3か月予報等について

- 九州北部地方の一般的な天候経過
- 令和3年6月～8月の3か月平均の見通し

## ★ その他

- 線状降水帯がもたらす顕著な大雨に関する情報について

# 九州北部地方の一般的な天候経過



# 6～8月の3か月予報

(令和3年5月25日 発表)

## 九州北部地方向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)



### <予報のポイント>

- ◇ 6月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、**降水量はほぼ平年並**の見込み。  
(5月27日発表の1か月予報より)
  - ◇ 7月は、前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多い見込み。**降水量はほぼ平年並み**の見込み。
  - ◇ 8月は、平年と同様に晴れの日が多い。**降水量はほぼ平年並**の見込み。
- ※最新の予報をご利用ください。(3か月予報の次回発表は6月25日)

### 九州北部地方の梅雨入り・梅雨明けについて

梅雨入り・・・**5月15日** (平年 6月 4日頃)  
梅雨明け・・・ (平年 7月19日頃)

大分市の6月～7月の降水量  
574.9mm (平年値)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ 場所で降り続けている状況を「**線状降水帯**」というキーワードを使って解説する情報です。

警戒レベル相当情報を補足する情報。

## 線状降水帯に関する情報のイメージ

### 顕著な大雨に関する大分県気象情報

西部、中部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

## 線状降水帯に関する情報を補足する図情報のイメージ



○大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

「雨雲の動き」(高解像度ナウキャスト)の例

線状降水帯がかかる大河川の下流部では今後危険度が高まる可能性があることにも留意する必要がある旨、ホームページ等に解説を記述する。

終わり